

「地域日本語教育の体制づくりのあり方」の 実現に向けた方策について

令和 6 年 7 月 1 1 日
生活文化スポーツ局

日本語教育を通じて、外国にルーツをもつ人々と地域とのつながりをはぐくむ

⋮

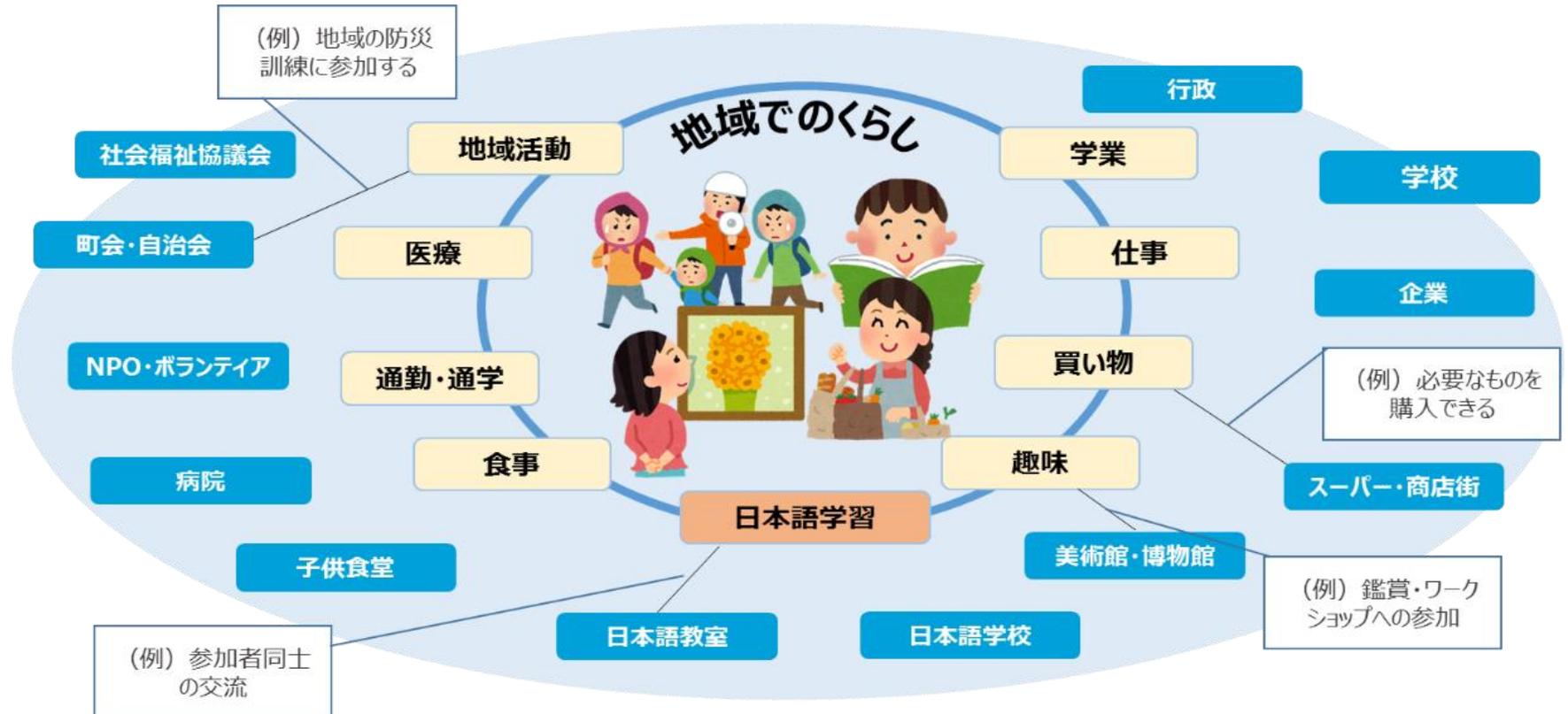
そのために求められる視点

初期段階の日本語教育を保障する



外国人が地域社会とのつながりを持つ

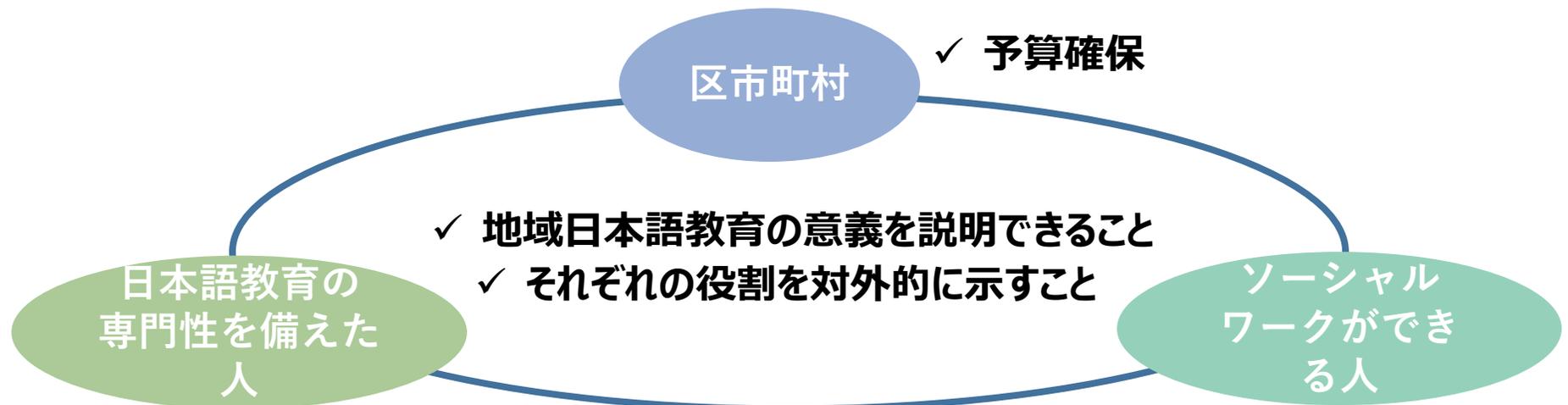
【東京における地域日本語教育の目標のイメージ】



- ✓ 地域の現状・課題は各区市町村によって異なるため、地域の実態に応じた体制づくりが必要である
- ✓ その際、必ずしも一人のコーディネーターだけで取り組む必要はなく、チーム体制の構築も視野に入れる

チーム例

- ✓ 関係者が共通認識を持って活動できる体制を確保



- ✓ 日本語教室との意見交換の場の設定

- ✓ 地域における民間主体等につなぐこと

地域日本語教育の体制づくりに取り組む区市町村等への支援

令和6年度の取組

- 区市町村の取組を更に後押しするために、既存の国の補助 1 / 2 に加え、**初期段階の日本語教育の取組に係る経費として、都の補助1/4を新たに上乗せ**
- 「体制づくりに取り組めていない」、「地域日本語教育に初めて携わる」という区市町村職員の方に向けた、地域日本語の重要性、他自治体の事例を掲載した**「地域日本語教育のはじめてハンドブック」**を配布

「地域日本語教育のはじめてハンドブック」

https://www.seikatubunka.metro.tokyo.lg.jp/chiiki_tabunka/tabunka/tabunkasuishin/files/0000001694/Handbook.pdf

(参考) 葛飾区が開催する日本語教室

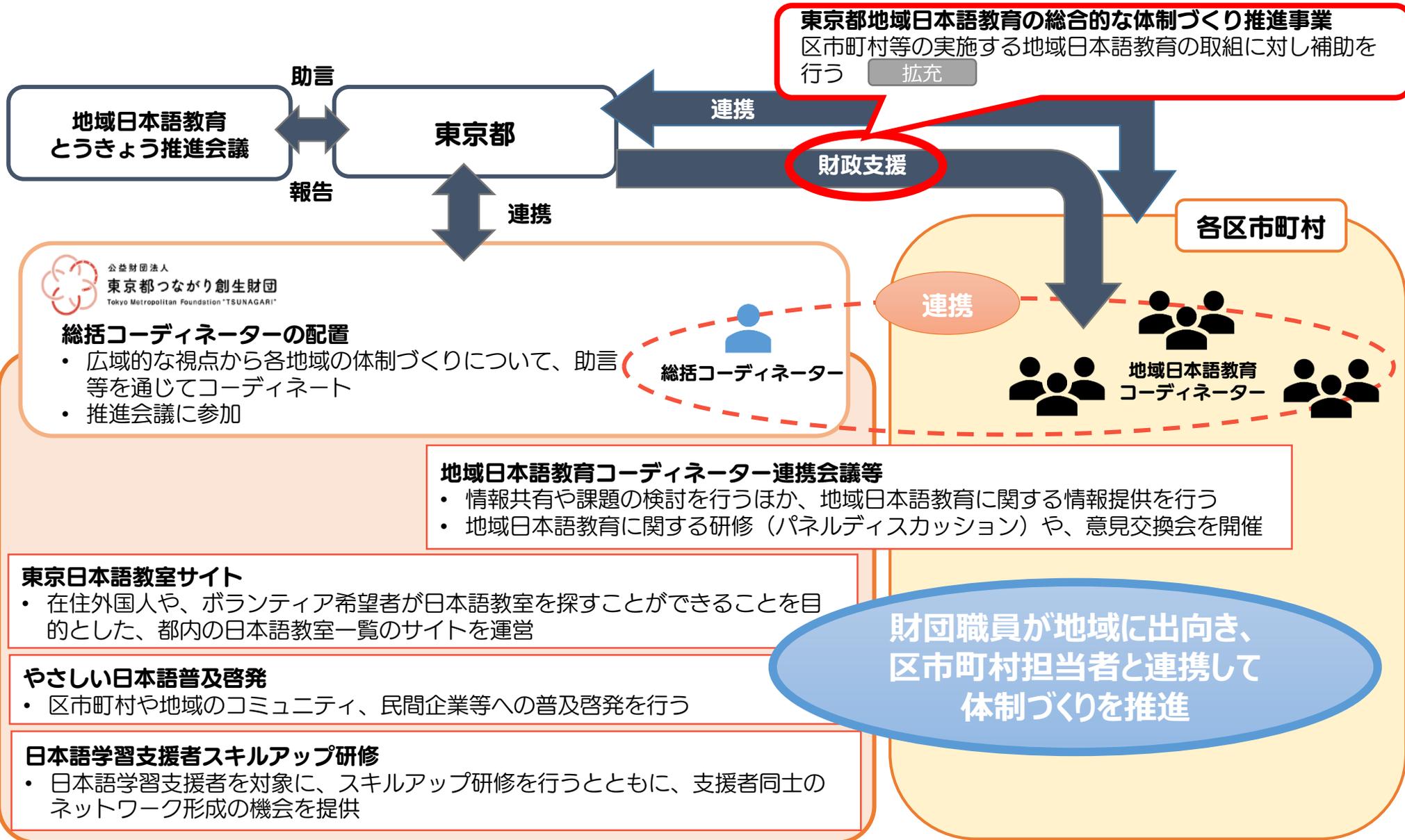


日本語を全く話せない、ほとんど話せない外国にルーツをもつ人々の学習支援（**初期段階の日本語教育**）に取り組む行政が増えています



令和6年度 東京における地域日本語教育の実施体制

地域の実情に応じた体制づくりを支援することで、東京全体の体制を強化していく



東京都地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業

■ 総括コーディネーターの配置

➢ 総括コーディネーターを配置し、都の調整会議に参加するほか、連携会議や研修会で情報共有やネットワーク化を図り、自治体等による地域日本語教育の体制づくりを支援する。

■ 地域日本語教育コーディネーター（2名）の配置 **NEW!**

➢ 令和6年度から、新たに地域日本語教育コーディネーター2名を配置し、自治体が実施している地域日本語教育事業や、地域で活動している日本語教室などの現場に出向き、都内の地域日本語教育の実態を把握する。

➢ 都内各地の日本語教室の活動内容を取材して情報提供するほか、東京日本語教室サイトに掲載して、日本語学習を希望する在住外国人にも情報を届ける。



<https://tabunka.tokyo-tsunagari.or.jp/log/topics/2024/06/vol8.html>

東京都多文化共生ポータルサイトで
日本語教室について情報提供
<https://tabunka.tokyo-tsunagari.or.jp/>

地域日本語教育コーディネーター連携会議①

■ 地域日本語教育コーディネーター連携会議の開催

➢ 都の補助金を活用している区市町村の地域日本語教育コーディネーター等が参加する会議を、年2回開催。

➢ 実施している事業の情報共有や課題の検討を行うほか、地域日本語教育に関する情報提供を行う。

➢ 地域日本語教育コーディネーター同士のネットワーク形成を支援し、区市町村を越えた連携を強化する。



地域日本語教育コーディネーター連携会議②

■ 地域日本語教育に関する研修会の実施

➢ 連携会議で議論した内容に関する専門家の講義や、先進的な取り組みを実施している地域の事例紹介を行うための研修会を実施することで、地域日本語教育コーディネーターが地域の課題を解決できるようにする。

■ 自治体職員等を対象とした意見交換会を実施

➢ 自治体で地域日本語教育に関わる職員等が意見交換する機会を作る。

■ 日本語教室見学会を実施

➢ 連携会議の参加者から、他の地域で実施している地域日本語教育の現場を見たいという意見があったため、互いの現場を視察する日本語教室見学会を実施する。

日本語教育の参照枠（抜粋）	
日本語使用の状況	0レベル
習得した	C2
	C1
	B2
自立した	B1
基礎段階の	A2
日本語使用	A1

○ 地域全体で目指す東京における地域日本語教育のレベル：
B1(自立した言語段階使用者)

○ 特に行政が関わっていくべき初期段階の日本語教育：
A1～A2レベル(基礎の言語使用者)

仕事、学校、娯楽でだんだん出会うような身近な話題について、共通点による話し方であれば、主観点を理解できる。その意図が読み取られている場面を期待していることに依りまわす。大抵の質問に対応することができる。身近で個人的にも関心のある話題について、簡単な方法で返り付けられる。事前のあるテキストを作成することができる。経験、比較、推察、動機を説明し、理由や計画の理由、説明を長く述べることもできる。

ごく基本的な個人情報や家族情報、興味、住所、仕事など、直接的な関心がある範囲に関する、よく使われる文や表現が理解できる。簡単な日常会話の場面から、簡単な日常会話について簡単な説明に訴えることができる。自分の得意分野の状況や、直接的な必要のある情報の事例を簡単な言葉で説明できる。

具体的な状況を測定するための、よく使われる日本語の表現と基本的な言い回しを理解し、用いることができる。自分や他人を紹介することができる。どこに住んでいるか、誰と住んでいるか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手のなぐり、はっきりと話して、助けを求めたりするならば簡単なやり取りをすることができる。

初期段階の日本語教育
やさしい日本語によってコミュニケーションがとれる

地域日本語教育に関する専門研修

■ 地域日本語教育に関する専門研修の実施

➢ 日本語教室で中核的な活動をしている方や、自治体職員等を対象に、地域日本語教育に関する専門知識を学び、支援者同士の情報交換やネットワークづくりを行う研修を実施する。

➢ 参加者同士で課題検討を行うことで、地域の問題解決につなげる。

■ フォローアップ研修の実施

➢ 専門研修参加者を対象に、研修で検討した地域課題の解決にどのように取り組んだか共有したり、新たな実践について意見交換するフォローアップ研修を実施する。



■ 東京日本語教室サイトの運営

➢ 日本語を学びたい在住外国人や、ボランティア希望者が日本語教室を探ることができるように、令和3年12月にオープンした「東京日本語教室サイト」の運用を行う。

➢ やさしい日本語 + 4言語（英語・中国語（簡体字・繁体字）・韓国語）に多言語化

● 日本語教室掲載数：263教室（令和5年度末時点）

● アクセス数：年間 357,425件

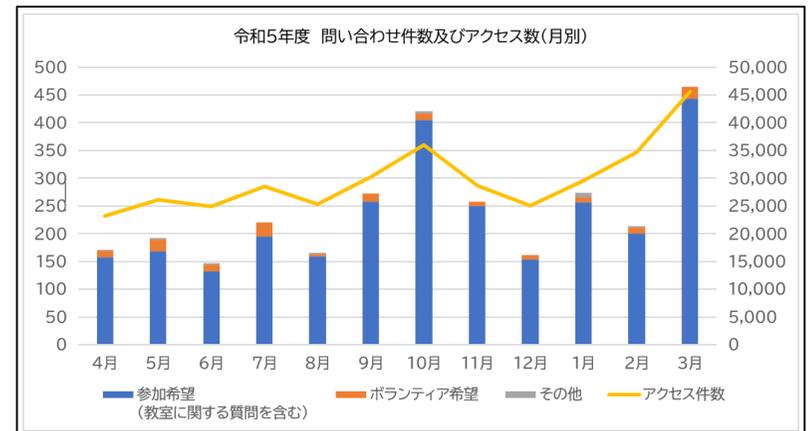
令和6年度中に
120言語に対応する予定

順位	区市町村名	アクセス数	昨年度 順位	順位	区市町村名	アクセス数	昨年度 順位
1	新宿区	36,681	1(→)	11	板橋区	5,250	16(↑)
2	港区	21,942	2(→)	12	中央区	5,077	8(↓)
3	千代田区	13,664	5(↑)	13	豊島区	4,891	14(↑)
4	長野県佐久市	12,913	圏外(↑)	14	文京区	4,776	15(↑)
5	世田谷区	11,285	3(↓)	15	練馬区	4,606	12(↓)
6	江東区	9,874	6(→)	16	北区	4,113	圏外(↑)
7	渋谷区	8,184	4(↓)	17	大阪府大阪市	4,012	圏外(↑)
8	江戸川区	6,725	7(↓)	18	台東区	3,765	17(↓)
9	足立区	6,255	13(↑)	19	大田区	3,752	10(↓)
10	杉並区	6,188	9(↓)	20	神奈川県横浜市	3,415	11(↓)

● メールフォームを利用した日本語教室への問合せ：年間 2,956件

■ 動画の作成

➢ 日本語教室について周知を図るため、説明動画を作成して広報等に活用する。



日本語教室参加希望：2,774件
ボランティア希望：160件

やさしい日本語普及啓発事業

広くやさしい日本語の認知度向上を目指す**普及啓発事業**と、活用促進に取り組む人を育成する**人材育成事業**を実施

■ 普及啓発：活用に役立つツールの提供

➢ **やさしい日本語ブックレット** 活用のヒントを得る事例集
行政からボランティア団体、大学、民間企業まで、様々な組織・分野の活動事例を紹介する冊子を作成・配布中



➢ **やさしい日本語用語集・イラスト集** 子育て・教育分野編
妊娠・出産～小学校・中学校で使用する用語の書き換え例と、併せて使用できるイラストをサイトで提供



■ 人材育成：各種研修の実施

➢ 「やさしい日本語リーダー」養成研修

職場や地域でやさしい日本語活用の取組をけん引する人材を育成
【本研修の特徴】

- ・やさしい日本語の意義・ポイント・使い方をどう伝えるかを学ぶ
- ・外国人参加者とコミュニケーションや情報発信について考えるワーク有
- ・修了生に普及用ツールとして、研修で使用した資料一式を提供



※その他、**公的機関職員向けの基礎研修・テーマ別研修も実施**。やさしい日本語普及啓発事業の情報は以下で紹介

東京都多文化共生ポータルサイト (TIPS) やさしい日本語コーナー <https://tabunka.tokyo-tsunagari.or.jp/yasanichi/about.html>

- 東京の地域日本語教育の体制づくりをより一層推進するためには、
地域の様々な主体があり方を踏まえた体制づくりに連携して取り組む必要がある

**東京都全域に体制づくりのあり方が浸透し、
地域日本語教育の取組が推進されていくための
具体的な方策について検討していく**

【検討内容】

- ✓ 地域の各主体に向けて体制づくりの取り組みへの理解と参画をどのようにしたら促進できるか
- ✓ 地域の様々な主体に期待される役割やその連携のあり方
- ✓ 今後の体制づくりを進めていくために、国への要望事項 など